

アンラボ・セキュリティレター

# Press Ahn

---

2014.12 Vol.28

モバイル決済サービス市場、勝負の行方



便利 vs. 安全のはざままで揺れる、韓国モバイル決済サービス市場の実情とは

## モバイル決済サービス市場、勝負の行方

ダウムカカオは、9月にリリースしたモバイル決済サービス「カカオPay」に続き、14の銀行と組んでモバイル送金・決済サービスの「バンクウォレットカカオ（以下バンカ）」を発表した。カカオPayは、LG CNSのMPay決済モジュールを使って個人のクレジットカード情報を登録し、モバイルで決済する時にパスワードのみ入力する手軽な決済サービスだ。そしてバンカは、チャージ式プリペイドカード「バンクマネー」と、最大25枚の現金カードを保存してATM（CD/ATM）でNFCを使用する「モバイルキャッシュカード」サービスである。

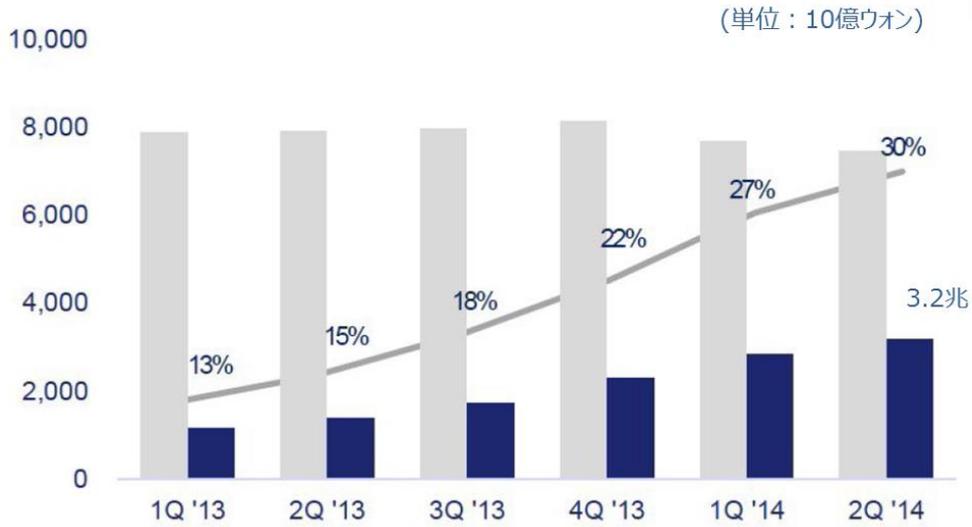
これによってカカオトークのグループで会費の精算やお祝い金を送金する際に、口座番号をやりとりして別の銀行アプリで送金する必要がなくなり、パスワード4桁を入力するだけでOKになる。今回のコラムでは、金融業界にまで進出するITプラットフォーム企業のモバイル決済サービスの現状と、浮上しているセキュリティ懸案について紹介した。

### 顧客経験モバイル決済市場進撃の背景

韓国の人気ドラマ「星から来たあなた」が導火線となった「ヒロインコート事件」をご存知だろうか。韓国のショッピングモールでオンライン決済をするために必要な認証書のせいで、ドラマのヒロインが着ていたコートが購入できない。多くの海外のファンの要請により、外国人は認証書なしにオンラインショッピングモールで決済できるよう規制を緩和したのである。これに対して国内では逆差別的議論が沸き起こり、結局10月に電子商取引法の改正によってオンラインで30万ウォン以上決済する場合必要だった認証書の使用義務を廃止した。さらに金融当局は、2015年9月までに改正を終了し、認証書の使用義務を廃止する範囲を銀行まで拡大する方針だと発表した。このような流れから認証書に代わる手軽かつ快適な認証手段の競争が本格化した。もちろん韓国のモバイル決済サービス市場の開花は、いちドラマだけが起因したものではない。

今はイーベイ（eBay）の子会社として収益全体の40%を占め、世界の決済プラットフォームとして市場を拡大中のPayPalと中国のAlipay（アリペイ）。これらはスマートフォンの普及と金融機関におけるカード決済の増加によってグローバル市場を開拓し、著しい成長を遂げている。

そんな彼らが最近、モバイル強国である韓国に白羽の矢を立てた。そんなグローバル巨大企業の韓国進出に対抗するため、韓国内のプラットフォーム企業も合従連衡など様々な準備を急いでいる。



▲ [図1] 韓国のインターネット vs. モバイル決済市場規模 出典：放送通信委員会

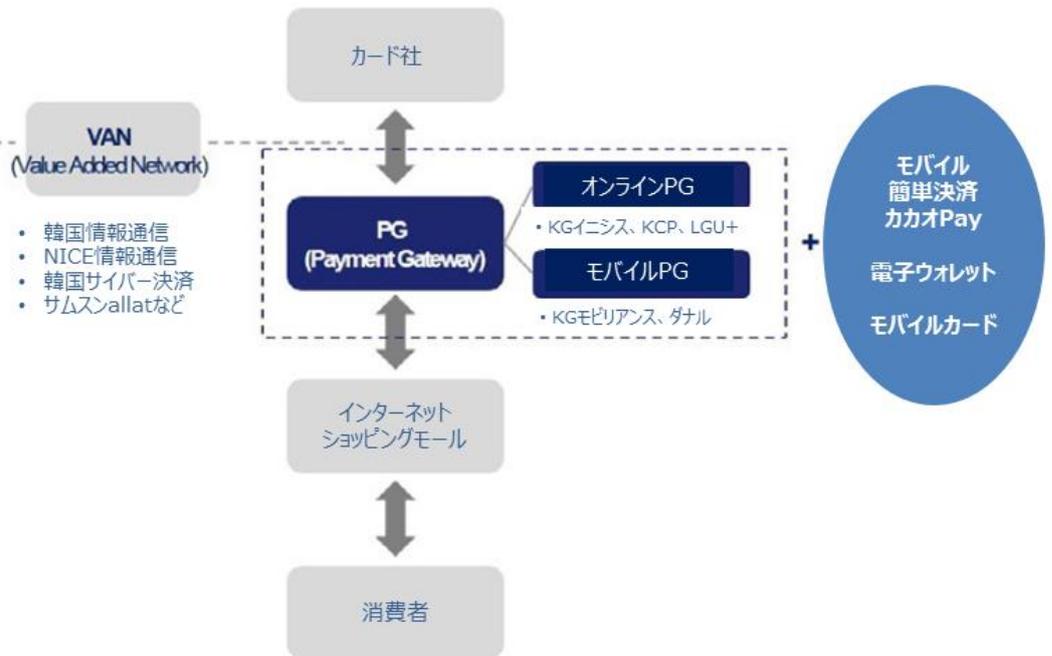
**モバイル決済サービス競争の鍵は「利便性」**

韓国のオン/オフライン決済サービス市場の構造は次のような構造になっている。

**オフライン決済フロー**



**オンライン決済フロー**



▲ [図2] 韓国のオン/オフライン決済サービス市場の構造

現状オンライン決済市場の場合は、ショッピングモールでモノを買うためのクレジットカード決済時にPGシステム（クレジットカード情報やパスワードを入力）を使用して、VANでクレジットカード会社のシステムに接続・決済が行われる。この時の金額が30万ウォン以上になると、公認認証書を使用して本人確認を行う。法改正により認証書確認の義務が廃止され、事前にカード情報を入力しておけばパスワードを入力するだけで良いので、認証プロセスが簡素化される。AppleがリリースしたApple Payはパスワードの代わりに「Touch ID」を利用した指紋認証を採用している。今はまだカカオPayを使って30万ウォン以上決済する場合、認証書が必要だが、規制緩和は時間の問題だろうというのが業界の一般的な認識である。



▲ [図3] オンライン決済プロセスの比較 出典：Chosenビーズ（2014年9）を参考に再構成

金融市場への進出を図る

ダウムカカオがリリースしたバンクウォレットカカオ（以下ハンカ）は、カカオトークのグループ間でカカオトーク専用口座を使用し、送金できるサービスだ。今は口座にチャージできる金額が50万ウォンまでで、一日に最大10万ウォンまで送金できる。しかし議論中の規制緩和の範囲が銀行にまで拡大される場合、ハンカは市場を先取りして大きく成長する可能性もある。



▲ [図4] バンクウォレットカカオの概要 出典：電子新聞2014.11

中国のオンライン決済市場の5割近くを占めるAlipayは、クレジットカード決済・税金の支払い・交通費の支払いなどの決済に加えて、送金・資産運用会社で収益を上げる金融商品投資（ファンド加入など）・Alipay口座をベースに小額の融資まで受けることができる。ほぼすべての金融業務を扱っているわけである。約10兆ウォンと予想されるモバイル金融市場を先取りしようとする各企業が動きを見せている中、キャリアや金融業界でも簡単決済サービスやモバイルプリペイドカード、電子ウォレットサービスなどを次々出している。

**問題は、「セキュリティ」**

韓国で5月に発生したAカード社のモバイルカード不正取引の被害額は約6,000万ウォンで、これこそモバイル簡単決済サービスに対する消費者の不安が的中した代表的なケースだった。韓国放送通信電波展覧院の「モバイル決済と電子ウォレットサービスの利用実態調査（2013.8.30）」によると、消費者がモバイル決済サービスを利用しない主な理由としては「カード情報を携帯電話に入れておくことが不安（59.5%）」、「ハッキングのおそれ（56%）」などセキュリティ上の脅威に関連したものであった。

このような消費者の懸念もあり、カカオPayに参加したカード会社はヒョンダイ、サムスン、KB国民、ロッテカードなど4社のみ。カード業界は決済から承認までの全過程を暗号化するEndto-End方式の導入と、仮想カード番号の利用など、セキュリティの強化を求めている状況だ。

**脅威への多角的な対応を**

初期にモバイル決済市場へ参入したグローバル企業は、多様な方法でセキュリティ問題を解決している。Paypalは、エスクロー（Escrow）口座（売り手と買い手間で一時的な口座を作成）を使用して、取引中に異常が発生してもユーザーの口座が直接不正に奪取される確率を下げ、PCI-DSS認証によって安全性を確保している。またeBayを介して長期継続構築されたDBをもとに異常取引検知システム（FDS）を運営し、情報の漏えいおよびインシデントをリアルタイムに検知できる。最近リリースされたApple PayはTouch IDを利用した指紋認証を採用し、トークン化技術でデータ漏洩の際にも重要なカード情報などを利用できないよう、特にセキュリティ強化に気を使っている。

社名	サービス名	認証とセキュリティ方式
eBay	Paypal	<ul style="list-style-type: none"> <li>エスクロー（Escrow）方式</li> <li>PCI-DSS（Payment Card Industry Data Security Standard）*</li> <li>異常取引検知システム</li> </ul>
Google	Google Wallet	<ul style="list-style-type: none"> <li>PIN（Personal Identification Number）</li> <li>Master CardのMobile Pay Pass技術</li> <li>セキュリティゾーン（Secure Element）</li> </ul>
Apple	Apple Pay	<ul style="list-style-type: none"> <li>Touch ID（指紋認証）</li> <li>トークン化技術</li> <li>セキュリティゾーン（Secure Element）</li> </ul>
サムカカオ	Kakao Pay	<ul style="list-style-type: none"> <li>LG CNS Mpayセキュリティ方式</li> </ul>

\*ハッキングや盗難/紛失から、クレジットカード情報の流出を防止するために、VISA、マスターカード、アメリカンエクスプレス、JCBなどの大手クレジットカード社で作成したセキュリティ標準認証

[表1] 主要ベンダーのセキュリティ方式 出典：韓国トンヤン証券2014年10月

決済サービスの規制緩和の声を着実に高まっている中で、新たな市場を待ち望んでいたグローバルIT業界の動きは日々加速化している。

しかし、すでにAppleのTouch IDのハッキングやGoogle Walletにも脆弱性が発見されてサービス中断に追い込まれたケースがある。無差別的な市場拡大は重大事故につながる可能性もある。

モバイル決済サービスの市場競争に参加する企業らの、自発的なセキュリティ強化のための投資と、ハッキング防止プログラムの開発など積極的な努力をもとに新たな脅威への対応が必要だ。もちろんモバイルユーザー自らも、セキュリティ意識を持って使用する必要があるため、ユーザーのセキュリティ意識を向上させる多角的な努力が求められている。



---

<http://www.ahnlab.co.jp>

<http://global.ahnlab.com>

<http://www.ahnlab.com>

---

## アンラボとは

株式会社アンラボは、業界をリードする情報セキュリティソリューションの開発会社です。

1995年から弊社では情報セキュリティ分野におけるイノベーターとして最先端技術と高品質のサービスをご提供できるように努力を傾けてまいりました。今後もお客様のビジネス継続性をお守りし、安心できるIT環境づくりに貢献しながらセキュリティ業界の先駆者になれるよう邁進してまいります。

アンラボはデスクトップおよびサーバー、携帯電話、オンライントランザクション、ネットワークアプライアンスなど多岐にわたる総合セキュリティ製品のラインナップを揃えております。どの製品も世界トップクラスのセキュリティレベルを誇り、グローバル向けコンサルタントサービスを含む包括的なセキュリティサービスをお届け致します。

# AhnLab

〒101-002 東京都千代田区外神田4-14-1 秋葉原UDX 8階北 | Tel : 03-5209-8610 (代)

© 2014 AhnLab, Inc. All rights reserved.